

闘虎

No. 73 Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙
令和6年 冬季号



玉岡颯斗が引退試合で全日本優勝！

天皇杯 全日本レスリング選手権大会

12月21～24日、代々木第一体育館において「全日本レスリング選手権大会」が行われた。天皇杯で引退を表明していた、学生2冠の玉岡颯斗（OSA一館林高一早稲田大4年）は、準決勝で東京五輪銅メダリスト・屋比久選手と対戦。6-1とリードされていたが、横捨て身で会心のフォール勝ち。決勝でも逆転のがぶり返しを決め、引退試合で全日本優勝という、これ以上ない花道となり「おおたの麒麟児」から「ニッポンの麒麟児」に昇華し、マットを降りた。

【グレコローマン】◇55kg級 ③増田壮兼（育英大） ◇60kg級 ③五味虹登（育英大） ◇63kg級 ③三谷剛大（育英大） ◇82kg級 ①玉岡颯斗（早稲田大）

【女子】◇53kg級 ③原田渚（育英大） ◇55kg級 ①清岡もえ（育英大） ◇65kg級 ②池畑菜々（育英大） ◇72kg級 ③藤倉優花（育英大）

◆発行/群馬県レスリング協会会長 金子博 ◆編集/群馬県レスリング協会広報委員会

クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第73回

邑楽ジュニアレスリングクラブ



心が強くなれるように！
みんなへ感謝の気持ち！

2年 主将 萩本 湊愛

邑楽ジュニアでは、現在、小学生7名、中学生4名で活動しています。練習内容は基本、技術、スパリーングに加えて、補強では先生がその日の人数等でいろいろなメニューを考えてくれます。きつい練習が多いですが、そのお陰で、経験の浅い小学生たちも着実に強くなっており、毎回熱いスパリーができて、チーム内がとて盛り上がっています。技術練では教え合い、考えながらやったり、試合では仲間を応援し合ったりすることが毎回、当たり前のようになっていますが、決して当たり前とは思わずに、環境、仲間、先生、親に感謝しながら日々みんなががんばっています。コロナでできていなかったレクも、最近では普通にできるようになり、みんなで楽しく仲を深めながらできることが本当に良かったと思っています。これからの邑楽ジュニアの目標は、たぐさんの試合に出て入賞することはもちろんですが、全国大会で入賞し、心も強くなれるように、先生、親、仲間への感謝の気持ちを残したいと思っています。

■練習日時 毎週月・水・金曜日、午後6時30分～8時30分
■練習場所 邑楽南中学校体育館

SCHEDULE

■全国高校選抜大会
3月27日(水)～29日(金)
新潟東総合スポーツセンター

■JOC杯ジュニア
クイーンズカップ
4月13日(土)・14日(日)
東京武道館

■JOC杯全日本
ジュニア選手権大会
4月27日(土)・28日(日)
横浜武道館

■群馬県高校総体
5月10日(金)～12日(日)
館林市民体育館

■館林市民春季大会
6月1日(土)
城沼総合体育館



小島 達也さん(横浜市・53歳)

レスラーの思い出

□この写真は昭和62年、私が館高2年の時、世界ジュニア選手権(オーストリア)に出場した時の一枚です。一番左が私です。練習嫌いだっただけが、先生、先輩達の指導のもと、辛い練習に耐えた結果、国内選考で優勝し、世界大会ではベスト8に入賞できました。実は私、入部してすぐに、きつい練習に耐えられず、部活動をやめています。その時、顧問だった高田裕司先生が、自宅まで説得に来てくれて、そのときに印象に残った言葉が、「みんなが若い青春を謳歌する中、灰色の青春を謳歌していいじゃないか」と言われたことです。当時は幼かったため、この言葉の意味を理解できませんでした。今となっては人と違うかけがえのない青春を送ることができ、本当に感謝しています。あの時、高田先生が来てくれなかったら、今の自分は存在していないと思います。

ぐんまの怪童デニー進撃開始の準V!

関東高校選抜大会

2月2・3日、佐倉市民体育館において「関東高校選抜大会」が行われた。群馬県選手で、一人気を吐いた「デニー」ことバナヤド・マイク・デニエル・トリス(館商工2年)が、地力を発揮し決勝進出。決勝では惜敗したが、進撃開始を思わせる大器振りを見せた。また、館林高校が8年ぶりに団体戦第3位となった。団体戦の順位と、8強入りを果たし、全国選抜出場権を獲得した選手及び女子の入賞者は、次のとおり。

【団体戦】③館林高

- 【個人戦】◇51kg級 ⑤川島倫太郎(大泉) ◇55kg級 ⑤小山和哉(大泉) ◇71kg級 ⑤浅川健太郎(富岡) ◇加藤航平(市太田) ◇80kg級 ⑤西原丈陽(館林) ⑤森田陵右(大泉) ◇92kg級 ②バナヤドマイクデニエルトリス(館林商工) ③石井裕樹(富実) ◇125kg級 ⑤上西エリキ(館林)
- 【女子】◇47kg級 ②村田悠夏(西邑楽) ◇57kg級 ③青山成実(邑楽 jr 1 日体桜華) ◇74kg級 ①村田悠芽夏(西邑楽)



強固なフォール勝ちで決勝進出を決めたデニエル

松崎凰我と西原大晴が素晴らしい試合内容! 館林市スポ少大会

1月28日、千代田町総合体育館において「館林市スポーツ少年団レスリングクラブ交流大会」が行われた。中学生の部で最優秀選手賞は、松崎凰我(PALAI STRA)、小学生の部で優秀選手賞は西原大晴(明和)が獲得した。

- 優勝者は次のとおり。
- 【中学生】◇38kg級 関田凌一(上州) ◇47kg級 加部雄大(伊勢崎) ◇53kg級 小林駿之介(PALAI STRA) ◇59kg級 佐藤陽(OSA)



MVPを獲得した松崎凰我(右)と西原大晴

- 66kg級 松崎凰我(PALAI STRA) ◇74kg級 和田三志郎(館林)
- 【小学5〜6年】◇30kg級 天笠聖(OSA) ◇34kg級 稲田佳恭(明和) ◇39kg級 川端隆太(明和)
- ◇45kg級 西原大晴(明和) ◇51kg級 山本凜(PALAI STRA) ◇51kg級 村田悠杏(邑楽)
- 【小学3〜4年】◇24kg級 齋藤明里(OSA) ◇28kg級 齋藤良輔(OSA) ◇33kg級 構作之介(OSA) ◇39kg級 大場基成(明和)
- ◇42kg級 笛木袖衣(伊勢崎)
- 【小学1〜2年】◇20kg級 大川想(大間々) ◇24kg級 山本權詩(PALAI STRA) ◇28kg級 杉江大治朗(館林) ◇28kg級 赤坂来輝(OSA)
- 【幼年】◇17kg級 刈田将太郎(上

レスクイーン

なごJUNGNMAの



OSAレスリングクラブ 荻谷 萌々香さん(小6)

レスリング経験者だった父から勧められて、レスリングを始めました。初めて道場に連れてこられたときは不安でいっぱいでしたが、練習していくうちに、相手を倒す力が付いていくことがわかり、全国大会など、大きな大会で優勝した時は、とてもうれしかったです。それ以上に、レスリングをやっていてよかったことは、大会や合同練習を通じて、全国に友達ができたことです。目標とするレスラーは、石井亜海先輩です。亜海先輩は、私にとって憧れでもあり、尊敬している人です。私も将来、亜海先輩のように、強いレスラーになりたいと思います。

千代田jrの山下優勝! 群馬の女子4選手V! 千代田町近接大会

12月3日、千代田町総合体育館において「第29回千代田町近接少年少女レスリング大会」が行われた。強豪クラブが多数参加した中、女子4選手が意地を見せ優勝。ぐんまの牙城を守った。県内選手優勝者は、次のとおり。

- 【5〜6年女子】◇42kg級 天田陽葵(大間々) ◇46kg級 荻谷萌々香(OSA) ◇46kg級 村松咲幸

平崎菜結が全国初V! パレイ3選手メダル! 全国少年少女選抜大会

1月27〜28日、加賀スポーツセンターにおいて「第28回全国少年少女選抜レスリング大会」が行われた。7月の全少で8強入りした選手のみで争われる同大会で、パレイストラの選手が躍動。平崎菜結が金メダルを獲得したほか、2選手が入賞した。県内選手入賞者は、次のとおり。

- 【6年】◇55kg級 ②構琉之介(OSA) 【女子6年】◇53kg級 ②荻谷萌々

- (PALAI STRA) 【幼年】◇24kg級 山下紳士郎(千代田)



全少選抜金メダルを獲得した平崎菜結

- 香(OSA) 【4年】◇33kg級 ③小林桂士(PALAI STRA) 【女子5年】◇36kg級 ①平崎菜結(PALAI STRA) ◇40kg級 ③鳥居希子(PALAI STRA)

清水聖矢西日本制す! 山田康介は初参戦V! 西日本学生選手権

9月30日〜10月1日、金岡公園体育館において「西日本学生レスリング選手権大会」が行われ、清水聖矢(福岡大3年)と山田康介(関西学院大1年)が優勝を果たした。群馬県選手の西日本インカレ優勝は、玉岡拓海以来6年ぶり。グレコでの優勝は、増谷剛(現・市太田監督)以来11年ぶり。関西学院大からのグレコ優勝は、50年ぶり。

寒風の山梨県で熱闘! 西原丈陽が地力発揮! U15・17関東予選

12月26日、小瀬スポーツ公園体育館において「U15・17関東ブロック予選」が行われた。各カテゴリーで入賞し、上位大会進出を決めた選手は次のとおり。

- 【フリー】◇74kg級 ①清水聖矢(邑楽 jr 市太田 福岡大) 【グレコローマン】◇63kg級 ①山田康介(館林 jr 館林 関西学院大) 【女子】◇72kg級 ①小林久美(千代田 jr 西邑楽 福岡大)

- 【U17フリー】◇51kg級 ②柳澤志音(OSA 足大附) ③樋澤空(館林) ③川島倫太郎(大泉) ◇55kg級 ③吉田凱(館林) ◇71kg級 ③横山蕾(大泉) ◇80kg級 ①西原丈陽(館林) ②森田陵右(大泉) ◇92kg級 ③丹山世那(大泉) ④櫻井凧木(館林商工) ◇110kg級 ①山崎匠汰(富実)

- ※上位4名がJOCに出場。 【U17グレコローマン】◇60kg級 ①松井礼士(OSA 足大附) ②石塚佑慎(市太田) ◇71kg級 ①中島隼登(館林) ※上位2名がJOCに出場。 【U15】◇48kg級 ③金谷信太郎(PALAI STRA) ◇75kg級 ②和田三志郎(館林) ※上位4名が最終選考会に出場。

HERO'S IN GUNMA



玉岡 颯斗 選手 (早稲田大学)

この天皇杯で引退を決めていたので、悔いなく思い切ってやろう、それだけを考えて臨みました。準決勝の東京オリンピックの銅メダリストと対戦した時も、全く気後れすることなく、絶対倒してやるという気持ちで戦いました。その結果、優勝できたことはとてもうれしく、今まで応援してくれた家族、仲間たち、コーチすべての人に感謝です。一片の悔いのない、最高のレスリング人生でした。